

令和5年第4回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	25	小沢和悦	<p>1 農業と農村集落を維持，発展させる思い切った施策について</p> <p>(1) 現状認識</p> <p>(2) 国による「食料・農業・農村基本法」見直しの問題点</p> <p>(3) 地域農業と農村集落を維持し，元気づける対策</p> <p>2 急増するイノシシを一定数まで駆除する大作戦の展開について</p> <p>(1) 現状認識</p> <p>(2) 駆除大作戦の必要性</p> <p>(3) 国に対する支援要請</p> <p>3 物価高騰及び暖房費用高騰対策支援金の支給等について</p> <p>(1) 住民税非課税世帯及び全世帯への支援金支給</p> <p>(2) 生活保護基準以下の世帯への生活保護制度アピール</p> <p>(3) 市税等完納できない世帯に寄り添った生活再建支援</p> <p>4 飲酒運転もみ消しと疑われている事件への大崎市と教育委員会の対応について</p> <p>(1) 9月12日付で県警が道交法違反（酒酔い運転）容疑で，起訴を求める厳重処分の意見を付け書類送検をしたと報道されているが，なぜ処分抜き的人事異動か</p> <p>(2) 大崎市長は，この事件に全く関与していないのか</p> <p>5 市街地における大雨時の内水被害防止対策について</p> <p>(1) 清水川周辺地域の対策について</p> <p>(2) 大江川周辺地域の対策について</p> <p>(3) 姥ヶ沢，福芦地域の対策について</p> <p>(4) 上古川，本鹿島地域の対策について</p>
2	7	石田政博	<p>1 環境衛生の現状の課題について</p> <p>(1) リサイクルごみの回収方法に地域格差があり，高齢化が進む地域では当番制の負担が課題となってきた。</p> <p>大崎広域行政事務組合の業務範囲ではあるが，当市が船頭役となり，負担軽減と標準化できないか，伺う</p> <p>(2) 次年度よりプラスチック製品のリサイクルも進み，また，指定袋の入り数を30枚から20枚に変更しながら，収支バランスの適正化の取組などを行うとのこと。本市として早めの広報に努めるべきと考えるが，所見を伺う</p> <p>2 気軽に立ち寄れる，本庁舎の活用促進について</p> <p>(1) 2階市民ロビー，5階市民ロビーや1階屋内広場（パタ崎さん家）などで学生が自習している様子が見られる。1階屋内広場は，企画を増やして集客できると思うが，その考えはないか</p> <p>(2) 市民ロビーにおいても，各総合支所（地域）単位で，PRのための常設展示を行って一体感の醸成に活用してはどうか</p> <p>3 これまでの質問した中で検討いただいている課題の</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
3	13	佐藤弘樹	<p>進捗について</p> <p>(1) 地域自治組織において、地域おこし協力隊制度の導入による活性化の考えはないか、伺う</p> <p>(2) 移住促進のための空き家確保について、借り上げや買い取りの方向性は見えてきているのか現状について伺う</p> <p>(3) 子育て支援施設（屋内広場）の必要性は前回の議会で共有したが、スペースの確保のほか、運営組織の構築や育成が重要と考えるため、子育て支援課やまちづくり推進課、建設課と連携して取り組むことができないか、所見を伺う</p> <p>1 職員人財育成について</p> <p>(1) 職員に施策提案及び取組推進案の回答を求め、市政運営に生かすべきではないか</p> <p>2 防災減災対策について</p> <p>(1) 大崎市総合防災情報システム構築に当たり課題解消や対策を考慮されているか</p> <p>ア 本システム導入後には、どのように防災体制の向上につながるのか</p> <p>イ 本庁・支所間等における相互運用と、迅速で正確な情報共有が図られる内容か</p> <p>ウ 市民への情報提供（ウェブ、SNS）が重要だが、公開する内容と更新手法はどうか</p> <p>エ 本システムの市民周知と理解促進への考えは</p> <p>(2) 災害時協力井戸の登録状況と、自主防災組織等への周知現況は</p> <p>3 病院事業体制について</p> <p>(1) 大崎市民病院における働き方改革を踏まえた職場環境向上策と職員確保対策は</p> <p>(2) 連携協約締結も踏まえ、本院、分院等の機能強化をどう図っていくのか</p> <p>(3) 地域医療体制の向上を視野に、訪問診療・看護を含む在宅療養支援に取り組む考えは</p>	
4	8	早坂 憂	<p>1 地域おこし協力隊制度のさらなる利活用について</p> <p>(1) 大崎市の地域おこし協力隊の現状と、これまでの活躍状況について。また、これまで活動を見守ってきた中で見えてきた課題は何か</p> <p>(2) これまで地域おこし協力隊に着任し、何名が卒業して現在は何をしているのか。また、任期中に残念ながら離職された方は何名いたのか</p> <p>(3) 地域の要望と隊員のやりたいことのマッチングについては課題も多いと考える。地域振興のような大きい枠で募集し、様々な活動の幅を広くできるような、フリーミッションに近い活動の募集はできないのか</p> <p>(4) 都会の人財に大崎市を知って興味を持ってもらうことができるように、東京事務所のような拠点の設置が</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
5	10	鹿野良太	<p>必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>2 大崎市の防災について</p> <p>(1) 東日本大震災から10年以上が経過し、大規模災害の対応を経験していない若手の職員も増えてきた今、大規模災害を想定したより実践的な訓練が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 度重なる水害により、市民の防災意識が目に見えるほど高まっている今こそ、大崎市役所で行われている訓練の中身に注目していただけるチャンスだと考える。これまでの総合防災訓練とはひと味違った新たな訓練法を取り入れたり、より多くの市民を巻き込んだ大規模な訓練の可能性について伺う</p> <p>(3) 土日祝日に出勤して訓練を行うのではなく、職員を3, 4チームに分け、業務にあたる職員と訓練を行う職員に分けて平日に実施することで、来庁している市民に間近で訓練を見ていただくことも大切と考えるが、所見を伺う</p> <p>1 本市の産業力強化について</p> <p>(1) 大衡村へのP SMC進出を本市はどう生かしていくのか、伺う</p> <p>(2) 半導体や蓄電池の工場等に関して、土地利用の規制緩和の動きがあるが、今後の工事用地の確保や農地転用の期間短縮など本市の対応を伺う</p> <p>(3) 水素、アンモニアを含む次世代エネルギーの推進と、本市が目指す新産業の方向性を伺う</p> <p>2 地域の公共交通リ・デザイン実現会議を受けた本市の考えについて</p> <p>(1) 本市の公共交通の課題解決に向けて、スクールバス活用の可能性を伺う</p> <p>(2) 電動キックボードなどの新たな車両の利用を促進する案に対する本市の所見を伺う</p> <p>3 児童生徒への歯科保健事業の創設について</p> <p>(1) 本市児童生徒の歯科衛生状況を伺う</p> <p>(2) 小中学校での歯磨き指導の現状を伺う</p> <p>(3) 児童生徒への歯科保健事業の必要性を伺う</p>
6	23	氏家善男	<p>1 民有林の再生について</p> <p>(1) 木材需要の高まりにより民有林の伐採が進んでいる。しかし、所有者の高齢化や後継者不足、将来の林業経営の展望が見通せないことから、伐採後の植林が進んでいない。山の荒廃は気象変動による集中豪雨等と相まって下流域に洪水をもたらす結果となる。治山治水は国土を守る基本であるが、今後の対策について伺う</p> <p>ア 令和4年度伐採した面積について把握しているか</p> <p>イ 植林を進めるため森林環境譲与税を活用し再生への手厚い支援が必要と考えるが、所見を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>2 不登校児童対策について</p> <p>(1) 不登校児童がここ2年間で全国で10万人以上増加しているという文科省の調査結果が先頃新聞報道で明らかになった。本県においては1,000人あたりの不登校児童は36.3人となり、全国平均の31.7人を上回っており全国でも6番目の多さとなっている。</p> <p>不登校児童を抱える家庭にあっては悩み多きことであり、このような不登校児童の学びの場や居場所を提供していくことが行政として喫緊の課題ではないか。早急な対応を望むものであるが所見を伺う</p> <p>ア 本市の不登校児童の現状について伺う</p> <p>イ 閉校した校舎を利活用した不登校特例校の開設について</p> <p>3 働き方改革に伴う病院事業への影響について</p> <p>(1) 来年度4月から働き方改革に伴い時間外労働の上限規制が適用されることになる。特に県北の中核病院として救急医療を担う大崎市民病院においては、上限規制に早急に対応しなければならないと思うが、来年度に向けた対応について伺う</p> <p>ア 現在の医師、看護師の充足状況について</p> <p>イ 現在の医師の労働時間の状況について</p>
7	26	佐藤 勝	<p>1 本市の企業誘致について</p> <p>(1) 県が造成した大衡村の第2北部工業団地の波及効果と受入れ体制は</p> <p>(2) 本市の企業誘致の現状と課題</p> <p>(3) 誘致促進のため、休止している造成を再開する予定はあるか、伺う</p> <p>(4) 市の優位性とトップセールスは</p>
8	15	相澤久義	<p>1 旧志田小学校跡地利用について</p> <p>(1) 旧志田小学校跡地を古川支援学校へ移行に向けて、県との協議の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 大崎広域ほなみ園の運営状況について</p> <p>ア 現在の狭隘な中で大崎広域ほなみ園の療育環境の改善に、旧志田小学校を乳幼児から高等部まで一元化した障害児教育拠点として県が運営できないものか、所見を伺う</p> <p>(3) 古川支援学校に大学設置・誘致について</p> <p>ア この10年の間に就労支援施設が整備されているが、自立に向けての一般就労が少ない。支援学校卒業生に限らず、学校へ通えなかった方々等に技能習得するための職業訓練ができる全国で初の大学を閉校予定の宮城県立大崎高等技術専門校に設置、誘致を宮城県に要望するべきと考えるが、所見を伺う</p>
9	5	加川康子	<p>1 男女共同参画推進について</p> <p>(1) 令和4年度大崎市男女共同参画の推進に関する施策</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	24	木内知子	<p>の実施状況の事業評価を踏まえ、現状の課題をどのように捉えているか</p> <p>(2) 「宝をつなぐプロジェクト」について、進捗が見られない状況であるが、男女共同参画推進事業として新規事業を実施する目的、目指す姿は何か</p> <p>(3) 「生命を守るプロジェクト」について、学校教育とさらに連携し、包括的性教育を推進してはどうか</p> <p>(4) パートナーシップ制度導入に向けた本市の考えはどうか</p> <p>2 学校教育における個別最適な学びについて</p> <p>(1) 本市における個別最適な学びの進捗状況及び今後の取組はどうか</p> <p>(2) 教育データの利活用について、本市の進捗状況及び今後の取組はどうか</p>
11	16	鎌内つぎ子	<p>1 不登校児童生徒を出さない魅力ある学校づくりについて</p> <p>(1) 現状の認識と分析について</p> <p>(2) 解決策に向けた対応について</p> <p>(3) 不登校特例校設置の見通しについて</p> <p>2 松山地域の複合施設建設について</p> <p>(1) 松山地域の総合支所、公民館等の複合施設を検討すべきと考えるが、所見を伺う</p>
12	14	中鉢和二郎	<p>1 今年流行の子どもへのインフルエンザ予防接種無料化について</p> <p>(1) 感染防止策として</p> <p>(2) 負担軽減策として</p> <p>(3) 子育て支援策として</p> <p>2 放課後児童クラブ保育料の見直し及び児童館の環境改善について</p> <p>(1) 放課後児童クラブ保育料の見直しについては、少子化対策に逆行しているのではないか</p> <p>(2) 児童館の環境改善のため、古川東児童センターにサテライトを設置できないか、伺う</p> <p>3 小中学校の特別教室へのエアコン設置について</p> <p>(1) 現在、小中学校の特別教室へのエアコン設置は20%台であるが、今後の設置予定について</p> <p>4 高齢者福祉施設等への物価高騰対策について</p> <p>(1) 実態を把握しているのか</p> <p>(2) 物価、光熱水費の高騰による影響への対策について</p> <p>5 岩出山総合支所の空き部屋活用について</p> <p>(1) 高齢者福祉施設等として検討できないか</p>
12	14	中鉢和二郎	<p>1 県内への半導体産業の立地に伴う製造業振興策について</p> <p>(1) 大衡村の第二仙台北部中核工業団地に、台湾の半導体ファウンドリーP SMCが進出すると聞かすが、この</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
13	3	小玉仁志	<p>機に市内製造業の半導体製造関連ビジネスの拡大を全力で支援すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 小水力発電の促進について</p> <p>(1) 内川松沢小水力発電所が岩出山地域に完成した。農業、農村が有する地域資源である農業用水を有効活用し、地球温暖化対策への貢献と売電による農業水利施設の維持管理費の軽減を図るものであり、今後もさらに建設を進めていくべきものとする。</p> <p>また、本年10月30日に姉妹都市の黒部市を会派で訪問し、市営の黒瀬川発電所を視察した。水力発電の際に常に問題となるごみについて、画期的な仕組みで対処しており、大変参考となる事例であった。黒部市には、この他に宮野用水発電所もあり、合計最大出力960kw、合計常時出力290kw、年間平均発電量(実績)6百万kwh、年間平均売電収入1億8千万円となっている。</p> <p>本市においても、市内西部地域に建設適地があるものとするが、本市の取組について伺う</p> <p>3 地熱発電の促進と規制について</p> <p>(1) 今春、鬼首地熱発電所がリニューアルし再稼働した。地熱発電は、再生可能エネルギーの中でも天候の影響を受けず安定的に稼働することからベースロード電源として電力需給上、極めて重要な電源である。また、エネルギー自給率が低い我が国においては、純国産エネルギーである地熱発電は、エネルギー安全保障上も極めて重要な電源である。</p> <p>一方、地熱発電は、火山と密接に関連しており国定公園等の公園近傍に建設されることが多く、周辺環境との調和が大きな問題となることが多い。また、既存の温泉地に近接して開発が行われることも多く、既存の源泉への影響も危惧される。さらに、ボーリングにより地下の熱水や水蒸気が地上にくみ上げられるため、重金属等の地中の様々な有害物質を拡散する危険性が高く、付近の住環境を著しく損ね、迷惑施設として住民に建設の反対を受けることも多い。</p> <p>そもそも、再生可能エネルギーは、地域固有のエネルギーであり、地域において利用され、地域振興に寄与すべきものであり、市外の資本の手により開発され、その収益を市外に持ち去られる形での開発は望ましくなく条例等で規制されるべきものとする。</p> <p>以前より地熱発電の促進と規制について、議場でただしてきたが、明確な答弁とそれに基づく対処がなされてこなかった。</p> <p>そこで改めて、本市における地熱発電の促進と規制は、どのような考えの下で行われるのか、所見を伺う</p> <p>1 脱炭素実現に向けた取組と課題について</p> <p>(1) 温室効果ガス排出量の削減目標と現在の進捗について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
14	4	山田匡身	て (2) 事務事業編の進捗と課題について (3) 産業振興計画との連携状況、進捗と課題について (4) 計画実行のための財源調達について (5) 地域・経済社会における再生可能エネルギーの需要 状況について (6) 再生可能エネルギーの導入ポテンシャルと活用状況 及び課題について 1 子育て支援の現状について (1) 現在のワークライフバランスと本市の未就学児の受 入れ体制について伺う (2) わいわいキッズ大崎、つどいの広場事業の利用時間 の延長について伺う 2 市営住宅の制度について (1) 市営住宅入居の際に保証人がいない方への対応につ いて伺う (2) 申込み条件の見直しについて 3 本市の景観計画について (1) 景観計画について滋賀県湖南市を視察したが、本市 における景観計画区域の指定の現状と今後の進め方 について伺う 4 特定都市河川について (1) 特定都市河川について奈良県田原本町を視察した が、内水対策に積極的に取り組んでいた。本市の方向性 について伺う 5 地域交通の課題について (1) 各地域交通について住民の声など分析して運営はで きないのか、伺う (2) 運行経路の除雪作業の在り方について
15	22	後藤錦信	1 シビックプライドの醸成について (1) 創生活活性化のために、市民協働やシティプロモーシ ョン等に寄与すると捉えるが、所見を伺う (2) 大崎市人財育成基本方針の求められる職員像への活 用について 2 市民が森や木を身近に感じる施策について (1) 木育の推進について (2) 幼少期における木育の推進について 3 地域課題としての道路整備について (1) 市道八ツ森線の改良について (2) 県道吹上鬼首線の改良について 4 地域文化の継承、形成について (1) 文化財の管理、保存等の現状について (2) 文化財を市民と共有する施策について (3) 鬼切部城跡の学術調査と保存について
16	11	佐藤仁一郎	1 松山下伊場野地区学校再編の方向性を伺う

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			<p>(1) 学校再編計画が示されてから幾年も経過しているが、下伊場野小学校では再編が進まなかった、その背景を伺う</p> <p>(2) 下伊場野小学校において、学校再編を進めるに至った経緯について伺う</p> <p>(3) 下伊場野地区において学校再編に係る説明会を実施したと聞くが、その状況を伺う</p> <p>(4) 今後どのような形で学校再編を進め、いつ統合するのか、伺う</p> <p>(5) 統合に当たり、児童の送迎など保護者の不安払拭についてどのようにサポートしていくのか、伺う</p> <p>(6) 下伊場野小学校は、国土交通省から水辺の楽校に指定されているが、その位置づけはどうか所見を伺う</p> <p>(7) 下伊場野小学校は、周辺環境にも恵まれ、体育館も新しく、校舎もきちんとしているが、鳴瀬川堤防から見ると、屋根のトタンがさびており雨漏りの心配がある。生徒のためにも、今後も活用を図る上からも、早期に塗装を施すなど修繕すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(8) 下伊場野小学校は、地域の避難所に指定されているなど、地域になくてはならない施設であり、統合後の活用策について地域住民とどのような方向で進めるのか、伺う</p> <p>2 公設集会所の譲与に関する方向性について伺う</p> <p>(1) 譲渡するにあたっての市の方針について伺う</p> <p>(2) 譲渡を受けない場合、その集会所等は解体するのか、伺う</p> <p>(3) 解体するまでの間、その集会所は地元で指定管理をお願いするのか、伺う</p> <p>(4) その間の修繕についての基本的な考えについて伺う</p> <p>(5) 譲渡を受けるとなった場合の修繕や、建て替えに関する基本的な考えを伺う</p> <p>(6) 各地域が、地縁団体として法人格を取得するとき、そのハードルが高いと指摘されているが、所見を伺う</p> <p>(7) 公共施設等総合管理計画において、今後40年で約3割の施設を縮減としているが、現在指定管理を受けている集会所等の維持管理や、軽微な維持管理は地区で賄っている。そのような中で、集会所を、縮減の対象としているのは、修繕する意思がないとも思われるが、所見を伺う</p> <p>(8) 以前にもこの件に関し質問しているが、地区集会所等は、地域コミュニティの核となる施設と認識しているが、実質的に消滅させる方向で、計画が進んでいるように思われ、矛盾していると感じるが、所見を伺う</p>	
17	12	八木吉夫	<p>1 農業政策について</p> <p>(1) 農業の担い手不足が叫ばれているが、誇れる農業を</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>持続させるために、どのように取り組んでいるか、所見を伺う</p> <p>2 世界農業遺産認定品について (1) 認定基準について伺う</p> <p>3 障がい児・者支援について (1) 障がい児・者の歯科診療が、仙台市や石巻市の専門医にお願いしなければならない大変な状況であり、支援すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>4 小水力発電事業について (1) 運営主体を大崎市とする小水力発電事業が、財政や農業施設の改修や長寿命化に活用できると考えるが、所見を伺う</p>
18	19	遊佐辰雄	<p>1 陸羽東線全線の存続運動について (1) 陸羽東線沿線自治体との共同の取組について (2) 全線存続に向けての市の対策について (3) 住民を巻き込んだ存続運動について</p> <p>2 上水道未給水地域の助成金について (1) 助成金の上限の引上げについて (2) 市有共同墓地への水道施設の整備について</p> <p>3 鳥獣被害等の防止策について (1) クマによる被害防止対策について (2) イノシシ駆除とジビエについて</p>
19	20	只野直悦	<p>1 多田川から学ぶ治水対策について (1) 田尻川整備計画の見直しについて ア 田尻川の課題について イ 八反田放水路の課題について (2) 化女沼ダムの貯留機能の増強について ア 近年の大雨におけるダムの貯水率と向上策について イ 洪水時に1.7メートルの放水口を全閉することについて</p> <p>2 子どもたちの体力向上について (1) コロナ禍における子どもたちの体力について ア 全国体力調査から、コロナ禍における運動不足の影響と検証、分析、課題を伺う イ 市内各学校におけるデータを独自に分析されたのか、伺う (2) 教育長杯小学校全校縄跳び大会の実現について ア 縄跳び運動が子どもたちに与える効果について伺う イ 県教育委員会主催のWeb縄跳びの実施校の現状と今後の見通しについて伺う ウ 教育長杯小学校全校縄跳び大会の実現に向けて、どう検討されて進めようとしているのか、伺う</p>
20	18	横山悦子	<p>1 原発事故由来農林業系汚染廃棄物保管協力金につい</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			て (1) 東京電力福島第一原発事故で発生した本市の汚染廃棄物、稲わら、牧草、堆肥、ほだ木の保管状況について (2) 汚染廃棄物保管農家への協力金支給について 2 江合、福沼、福浦地区冠水対策について (1) 江合川、新江合川の流域治水について (2) 大崎市雨水管理総合計画について (3) 江合地区、福浦地区の雨水対策の事業を実施するための事業計画の策定について 3 子宮頸がんワクチンについて (1) 令和4年度及び直近までのキャッチアップ接種対象者の人数と接種率は (2) キャッチアップ接種最終年度である令和6年度には、無料で接種できる期限を迎える高1から27歳相当の未接種者全員に対し、最終期限を知らせる個別通知の考えについて (3) 市として接種率を上げるために、どのような周知、啓発を行うのか 4 高齢者肺炎球菌ワクチン、市の独自助成制度について (1) 肺炎球菌ワクチンの定期接種は今年度が最終年度となる。令和6年度からは、65歳のみが対象となるので、独自助成制度について何う
21	6	法華栄喜	1 コミュニティ・スクールの推進について (1) 文部科学省が推進し、全国的に広がりを見せているコミュニティ・スクールについて、本市の現在の進捗状況と課題はどうか (2) 本市における今後の取組について 2 廃校の利活用について (1) 本市所有や寄託された考古資料、古文書の保存、展示等への活用について、現状と今後の方針について (2) 各廃校の維持、管理費について、廃校を考古資料等の収蔵庫として活用する場合、どの程度ランニングコストがかかると想定されるか
22	2	小嶋匡晴	1 子どもたちへの切れ目のない支援の取組について (1) 切れ目のない支援制度の確立に向けた市の考えを何う (2) 埼玉県蕨市、福島県伊達市から見る切れ目のない支援体制について所見を何う (3) 切れ目のない支援における幼保小の連携について (4) 不登校児童生徒の早期対応、発達障がい児などの早期発見、早期支援体制について (5) 特別支援学級の体制と今後の課題について 2 鳴子こけしの継承について (1) 宮城の伝統的工芸品である鳴子こけしの継承に向けた今後の大崎市の取組について

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
23	17	木村和彦	<p>(2) こけしの原材料であるミズキと市有林の活用について</p> <p>1 介護施設の拡充策について</p> <p>(1) 介護施設の充足。待機の現状</p> <p>(2) 特別養護老人ホーム，老健施設，通所介護施設など</p> <p>2 夜間急患センターについて</p> <p>(1) 建設計画の進捗状況</p> <p>(2) 運営主体の協議の状況（近隣市町村との協議）</p> <p>(3) 大崎地域医療連携の評価と地域還元は</p> <p>3 市役所周辺の整備について</p> <p>(1) 大崎市役所，あすもの駐車場不足の解消の見通し</p> <p>(2) 道の駅おおさき周辺の渋滞緩和策について</p> <p>(3) 冬期間の市役所利用者，特に歩行者の配慮について</p>	